

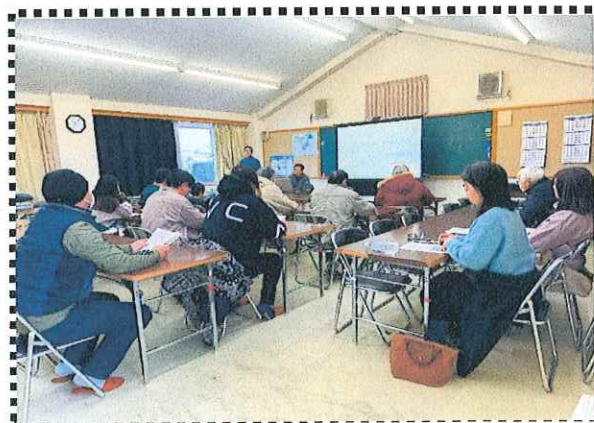
別記様式第5号（6の2関係）〔1枚目〕

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	2024年2月29日
団 体 名	佐久熱気球クラブ		
事 業 名	バルーンアカデミープロジェクト		
事業経費③	3,342,100 円	支援金額⑨	320,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 ・熱気球クラブ員、バルーンフェスティバルの常任委員の高齢化 ・熱気球のノウハウ、技術の継承が急務 ・熱気球のクラブ員、ファンを増やす
	事業内容 ・小学生向け冊子、ガイドブック、30年誌の作成と配布 ・熱気球教室の実施 ・熱気球 세미나、ワークショップの実施

事業の活動実績	・小学生向け冊子、ガイドブック、佐久の熱気球30年誌の3種の作成 ・市内の全小学生5,000名、クラブ員、公共機関、日本気球連盟、他への成果物の配布 ・熱気球教室の実施 ・熱気球セミナーの実施 ・パイロット希望者の募集とパイロットの育成 ・ワークショップの開催 ・クラブ会員の積極的な募集活動
---------	--



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	・熱気球教室を6回実施し、参加した子供、保護者に熱気球を理解していただけた。 ・教育委員会を通して市内の5,000名の小学生に冊子を配布することで、熱気球の理解をしていただけた。 ・クラブ員、公共機関、日本気球連盟、熱気球NPO法人他への配布で熱気球の関係団体、関係者への佐久の熱気球のPRができた。 ・熱気球セミナー（2/25、参加者17名）を実施することで、参加者は理解を深めることができた。 ・希望者3名がパイロット受験を目指して訓練を開始。 ・ワークショップの開催（1/14、参加者11名）で参加者は体験型の講座を实践し、参加者はクラブ参加に前向きになった。 ・ドキュメント3種類作成にあたり、多数の方が参画することでノウハウ、技術の継承ができた。 ・熱気球の日々の活動に小学生2名が参加するようになった。 ・会員増強となり、R4年度103会員がR5年度は109会員と6会員の増となった。特に個人会員は10%の増加となった。 ・来年度バルーンフェスティバルに向け役員の知識の向上 ・今回の事業において熱気球の理解者の拡大が図られた。 ・熱気球によるまちづくり実践者の増加と市民への啓発がされた。 ・観光客の増加に向けて関係者の熱気球の理解が深まった。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 当初の事業計画通りに実施できた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 期待通りの効果をあげることができた。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 教育委員会から市内の全小学生に配布の依頼があり、小学生向けの冊子を1,000部増の6,000部とした。また記念誌は120pageが128pageと8pageの増となり、総額320万円が334万円と14万円の増となった。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	・今年バルーンフェスティバル（BF）も佐久熱気球クラブで全面的に支援を行う。 ・BFの中心エリアになる高瀬区、岸野区の住民向けに係留と熱気球教室をR6.3.23に開催予定。 ・佐久市観光協会主催の7月～9月の3回の係留の実施
---------	--

佐久熱気球クラブ主催セミナー

佐久の熱気球・4つの知ろう

日時：2月25日（日）10時～12時

場所：岸野農村環境改善センター 研修室、体育館

内容：

第1章「歴史と熱気球について知ろう」

熱気球と佐久の関わりや歴史、熱気球が飛べる環境、どうしてバルーンフェスティバルがここまで育ってきたのか、熱気球の構造、装備品、パイロットになるには

第2章「競技について知ろう」

佐久バルーンフェスティバルの競技について知れば楽しみも倍増。

競技参加の条件、天気図や競技地図の見方、ルール、競技内容、必要な機材について

第3章「係留と熱気球教室について知ろう」

バルーンフェスティバルや市民交流広場で毎年行われる体験搭乗（係留）については、準備、セッティング、もやい結びとは、浮力計算などについて

熱気球教室については、熱気球の歴史、なぜ熱気球は浮くのか、飛行のしかたについて

第4章 「実機について知ろう」

原理の紹介と実機の組み立て



熱気球セミナー（2024.2.25）実施風景

座学と実機によるセミナー風景



熱気球ワークショップ

日時：2024年1月14日

時間：6時～10時

内容：参加者が主体的に参加する体験型講座

参加者：11名

相馬正徳、福島敬和、小林泰、高柳巧、遠山公子、佐々木岳史、岩下秀樹、吉澤卓也、西浦潤、須江哲洋、浅川文子



